

# ばらんす

■編集発行 大田原市教育委員会生涯学習課 女性企画担当 〒324-0041 大田原市本町1丁目3-3 ☎0287-23-8718・FAX 0287-24-2528

## 第19回 男女共同参画社会を考えるつどい

去る1月25日(土)市総合文化会館において「男女共同参画社会を考えるつどい」が女性団体連絡協議会と教育委員会の主催で開催されました。

今年度も行われた第2回女性の海外研修の報告と、ルポルタージュ作家本岡典子さんによる《めざそう! 真の男女共同参画社会「人生100年時代」の夫婦・家族・仕事》と題しての講演があり、真の平等社会を考える手がかりとなりました。

企画運営に当たった  
スタッフと発表者

## 第19回男女共同参画社会を考えるつどい

会場には  
若い参加者も



### スローガン

- 1 男女が共に尊重される平等な社会の実現をめざしましょう。
- 2 女性もあらゆる分野に参加・参画できる社会づくりをめざしましょう。
- 3 働く女性のための条件や環境の整備・充実をめざしましょう。
- 4 女性の福祉と家庭生活の向上をめざしましょう。
- 5 母性の尊重と健康の増進をめざしましょう。



# 本岡典子さん

長寿社会の到来、女性の社会的なあり方の変化などにともない、女性も男性も生き方が変わり、その形態もさまざまになってきています。講演では、「生活の質」への強い要求をもつ人たちが、社会の変化になかなかついていけず、人ごと、長...

## し・フルール誕生

「し・フルール」とはフランス語で「花」を意味します

第2回大田原市女性の海外研修派遣団員総勢10名は平成14年10月1日から10日間の研修を終えて、1月25日報告会を無事終了しました。

団員グループの名称は、1回目の「ソレイユ」に続き、今回は「し・フルール」と名付けられました。

これからの活躍を大いに期待しましょう。

### セッション ・フランス〜

ゴミは分別、リユース(再利用)、リサイクルも考えなければ...

江幡富子



伊藤秀子

(写真左)

十人の出会いがあったこと、実際にオランダ・フランスを訪れてみて、環境や女性問題と日常生活の中でもニュースや新聞の見方が変わってきたこと、そして「また、いつか、ヨーロッパへ行ってみたい。」と夢が広がった。



団員との出会いの他、沢山の方々と新しい生活の輪ができました。大田原市を市内、県内を問わず、多くの方に、より人に優しく、分かりやすい大田原市づくりのお手伝いができたらと願っています。

住吉すみ子



片岡友子

(写真左)

もう少し言葉が話せたら、外国の人達とも自由にコミュニケーションがとれてお互いにもっと理解し合えることがあったのではないかと思います。また苦手な語学を！積極的な意欲で学び研修先で出会った人たちと会えたらという希望をもっています。

### 現地研修での写真から



小沼伸枝

(写真左)

フランスの国とフランス人への見方が変わりました。フアームペンションでの良き交流体験は、私の興味を伸ばやかに広げています。フランス語の学習を、まずラジオ講座から、テキストを片手に始めたいです。



多くの仲間との関係の中から自分を見つめ直し、視野を広め、できるだけ地域活動に参加・参画し、新しい世界を開いていきたいと思えます。

佐藤政枝



# 講演「人生100年時代」の夫婦・家族・仕事

講師

つどいについてアンケートを実施し、女性100人男性22人（回収率34.5%）から解答がありました。主な意見を抜粋します。

### 女性

- 男女共同参画に向けて、まず自分自身の確立に努めたい。
- 夫婦関係を見直す道しるべとなりました。話しかけ方の大切さを再認識しました。
- もっとたくさんの男性にも聞いて欲しかった。
- 自分の夫のやさしさに感謝したいと思いました。

### 男性

- 夫婦間の会話がとても参考になりました。
- 日常生活の中で心当たりがあることが指摘され反省しました。少しでも実行したい。
- 男性と若い年代の人の参加がもっとあったほうがよい。
- 市民活動においては男性の方が弱い立場になりつつあります。女性にはもっとパワーを発揮してもらいたい。
- 海外研修報告は勉強になりました。生活に密着した違いについて話をされれば、より身近なものになったと思います。



講師

中高年期の過ごし方について、夫役との実演を交えてアドバイスとメッセージを与えてもらいました。会場では笑ったり大きくなすいたり充実した一時間半を過ごしました。

●海外研修内容が身近な問題で充実していたので感動しました。

大活躍の要長



アンケートでは、夫婦のあり方について真摯に受け止め、前向きな意見が書かれていました。

## ～ハートフルコミュニケーション in オランダ

# 花と風へのせ

異文化を仲間と共に体感できたことは貴重な宝となりました。研修を通して、家族、地域社会、そして、毎日の生活の中で見過ごしていた問題を改めて見つめ小さな芽を大切に考え直すチャンスになればと願っています。



に「三を少なくすることを外にではなくては。「自分一人ぐら改め、一人から二人へと輪を広げられるようにしたい」と思っています。



後藤 玲子

フランスと日本の文化、歴史のちがいを身を持って感じました。また自分なりに物の見方、考え方が変わった気がします。これからも大田原市が益々住み良い所となるよう、微力ながら十名の仲間と共に前進していきたいと思えます。



阿久津 幸子



渡邊 奈都子

(写真左)

研修先では、現地の方々の温かい心に触れることができました。日本は島国であるため、まだまだ国際交流の場が少ない。私はこれからは、大田原に住んでいる外国人の人たちや訪れてくる海外の人々の力になれるような活動ができればと考えています。



関谷 弘子

オランダやフランスの女性の生き方を学ぶと共に、世界には、不幸な女性も大勢いることを研修の折々に知りました。今後はこれらのことを念頭に、市の男女共同参画プラン推進の一助になれるよう研修を重ねたいと思っています。





祝 県知事賞



宇田川 佐藤政枝さん

平成十五年二月四日、栃木県アグリライフフォーラム2003において、第二回大田原市女性の海外研修派遣団員、佐藤政枝さんが昨年の高橋さんに引き続き、県知事賞に輝きました。

仲間と共に新しい世界へ

生活改善クラブ 佐藤 政枝

我が家は米中心の農業から休耕田を利用し、麦・大豆を作付け、大田原特産のハウスネギ「那須の白美人」を採り入れて七年目になります。ネギに関しては私の専門分野で生き甲斐を感じながら汗を流しています。

夫婦間の「家族経営協定」を締結したことによって私は嫁としてではなく、個人としての立場を認められました。夫の意識も変わり、夫婦の間に霧が晴れたような会話が多くな

ったのは確かです。

私が「生活改善クラブ」に加入したのは二十年前。自家製生産物の活用として、三五八床や味噌づくりをしたのが私にとって社会参加の始まりでした。農業分野が自分の世界だったこれまでの私にとって、ボランティアや消費者団体など、いろいろな分野で活躍されている多くの女性たちに出会うことができてとても刺激的でした。今まで「これって違うんじゃない！」と思いつつも目を閉じてしまう自分に、正面からぶつかる勇気を持たなければと言いつつ、疑問や問題を言葉に、行動にして人に伝える努力をしようと思うようになった。

農業に限らず、他の分野で活躍している多くの人との交流で、さらに見聞を広め知識を得たいという思いから、今年は大田原市独自の女性の海外研修に参加するという大きな挑戦を果たすことができました。

海外研修に参加し、私たちが男女共同参画社会の実現に向け、与えられた権利を主張し、認めてもらうには、必ずついてまわる義務と責任も果たすことを決して忘れてはいけないことである……

「これからの子供たちの教育が何よりも大切」と教えられた有意義な研修と同時に新しい十名の仲間が私の大切な宝となりました。同じ体験

を共有する仲間と、今後もしも関係が続けながら自分を見つめ直し、視野を広げ、出来るだけ地域活動に参加していきたいと思えます。  
(原文より要約しました)



お知らせ

女性の地域活動を確かなものにするため、市では女性のためのステップアップ講座等を開催しています。また昨年引き続き女性の海外研修事業も実施いたします。

大田原市のまちづくりに関心のある女性！平成15年度の講座や研修にぜひチャレンジしてみませんか。新年度になりましたら早い時期に募集を行います。皆さんの応募をお待ちしております。

編集委員募集!!

(男女を問いません)

編集会議から

編集会議の時「大田原の女性は頑張っている」という話が出ました。ガールスカウトのエコクラブでは、昨年に続いて今年も栃木県代表として全国大会に参加。大女高でもユネスコクラブ、給食サービスなどは有名。そして「生活改善クラブ」では、昨年の高橋美保子さんに続いて佐藤政枝さんが知事賞受賞。「私たちも、何か頑張らなくては」が、編集委員一同の感想でした。

編集委員

- 大久保 愛 子
- 杉 山 真美子
- 外 岡 博 子
- 古 谷 芳 子

(あいうえお順)

